

国際会議計画趣意書（形態：主催または共同主催、協催、協賛、後援）

様式 1

メールにて、審議決定機関に送付してください。

協催、協賛、後援の場合は記入不要。
協催、協賛、後援の場合は概略でも可。

20 年 月 日

社団法人 電子情報通信学会

会長 殿 または ソサイエティ会長/グループ運営委員長 殿

（審議決定機関：本部 会長、ソサイエティ ソサイエティ会長、グループ グループ運営委員長名）

国際会議名（略称）：

準備委員会/実行組織委員会名：

発起人/委員長等の氏名：

1. 国際会議名：英文 _____
和文 _____
略称：英文 _____

2. 開催期日： 20 年 月 日（ ）～ 月 日（ ）
定例会議ですか？ Yes No Yes の場合前回の開催年月日 20 年 月 日

3. 開催会場：（国/都市名/会場名）

4. 開催の規模： 発表論文予定件数： 約 _____ 件
参加予定者数： 約 _____ 名〔外国：約 _____ 名〕〔国内：約 _____ 名〕

5. 形態【 単独主催または 共同主催、 協催、 協賛または 後援】

(a) 共同主催、協催、協賛または後援は関連他学協会等を記入：

(b) 当該国際会議の出版物等に記載の「形態英文」の表記：

共同主催の場合には責任分担率（財務を含む）ならびに論文の著作権の処理について下記に記入。

(c) 責任分担率(内訳)：

(d) 著作権の処理(内訳)：

（本学会に著作権を譲渡される場合の著作権譲渡書は、本学会事務局が引き継ぎ永久保存となるので国際会議終了後に提出します。）

6. 単独主催、主格または同格等で共同主催を必要とする理由：

7. 準備委員会（実行組織委員会等）及び事務局等の構成案（委員会名簿を別添のこと）：

8. 事業計画/資金調達計画及び支出計画（予算書を別添のこと）：

9. 本国際会議に係る実行上の責務は実行組織にあるものとします。

また、主催または共同主催等の名義借用料として、剰余金の本学会責任分担率に応じた額の 30%を本部または当該ソサイエティ/グループへ納入します。

10. 単独主催の場合の税務処理については、【 本学会の処理 / 見なし法人として実行組織で処理】とします。

11. 本国際会議終了後に実施報告書（事業報告書、決算報告書）を提出します。
また、主催または共同主催の場合は本学会事務局に発行物及びアンケートを提出します。

12. 公認会計士等による会計監査処理の有無【 有/ 無】

13. 連絡先（住所、所属、氏名、電話、E-mail 等を別添のこと）